

泌尿器科学

1 構 成 員

	平成 27 年 3 月 31 日現在	
教授	1 人	
病院教授	0 人	
准教授	0 人	
病院准教授	0 人	
講師（うち病院籍）	1 人	(1 人)
病院講師	0 人	
助教（うち病院籍）	3 人	(1 人)
診療助教	1 人	
特任教員（特任教授、特任准教授、特任助教を含む）	0 人	
医員	0 人	
研修医	0 人	
特任研究員	1 人	
大学院学生（うち他講座から）	1 人	(0 人)
研究生	0 人	
外国人客員研究員	0 人	
技術職員（教務職員を含む）	0 人	
その他（技術補佐員等）	5 人	
合計	13 人	

2 教員の異動状況

- 大園誠一郎（教授）（H15. 4. 16～現職）
古瀬 洋（講師）（H14. 7. 1～助手、H19. 4. 1～助教、H22. 1. 1～現職）
大塚 篤史（助教）（H15. 7. 1～助手、H19. 4. 1～現職）
永田 仁夫（助教）（H18. 4. 1～助手、H19. 4. 1～現職）
杉山 貴之（助教）（H21. 3. 16～医員、H21. 8. 16～診療助教、H23. 4. 1～現職）
本山 大輔（診療助教）（H25. 7. 1～現職）

3 研究業績

数字は小数 2 位まで。

	平成 26 年度	
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	8 編	(2 編)
そのインパクトファクターの合計	15.10	
(2) 論文形式のプロシーディングズ及びレター	4 編	
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(3) 総説数（うち邦文のもの）	10 編	(10 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	

(4) 著書数 (うち邦文のもの)	3 編	(3 編)
(5) 症例報告数 (うち邦文のもの)	6 編	(4 編)
そのインパクトファクターの合計	0.74	

(1) 原著論文 (当該教室所属の者に下線)

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 石井保夫*, 吉武 理, 古瀬 洋, 太塚篤史, 杉山貴之, 永田仁夫, 甲斐文丈, 本山大輔, 鈴木孝尚, 加藤大貴, 田村啓多, 谷島崇史, 村上雅彦, 大園誠一郎. : 複数動脈症例における後腹膜鏡下ドナー腎採取術の左右の選択についての検討. 日本臨床腎移植学会雑誌 2:96-102,2014. 【腎移植】 [0.00]
2. 大園誠一郎, 高原富弘, 鈴木和己, 樋之津史郎, 井廻道夫, 赤座英之. : 去勢抵抗性前立腺癌患者においてアビラテロン酢酸エステル投与後にみられた肝機能障害 -本邦臨床第 I 相試験および第 II 相試験結果からの考察-. 泌外 28:87-97, 2015. 【泌尿器癌】 [0.00]
インパクトファクターの小計 [0.00]

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの

1. Kamiya N, Suzuki H*, Nishimura K, Fujii M, Okegawa T, Matsuda T, Morita T, Takihana Y, Ozono S, Namiki M, Matsubara A, Ichikawa T, Miki T. : Development of nomogram to non-steroidal antiandrogen sequential alternation in prostate cancer for predictive model. Jpn J Clin Oncol 44:263-269, 2014. 【Urology】 [1.783]
2. Eto M*, Uemura H, Tomita Y, Kanayama H, Shinohara N, Kamei Y, Fujii Y, Umeyama Y, Ozono S, Naito S, Akaza H; the Japan Axitinib Phase II Study Group. : Overall survival and final efficacy and safety results from a Japanese phase II study of axitinib in cytokine-refractory metastatic renal cell carcinoma. Cancer Sci. doi: 10.1111/cas.12546. 2014. 【Urology】 [3.534]
3. Satoh T*, Uemura H, Tanabe K, Nishiyama T, Terai A, Yokomizo A, Nakatani T, Imanaka K, Ozono S, Akaza H. : A phase 2 study of abiraterone acetate in japanese men with metastatic castration-resistant prostate cancer who had received docetaxel-based chemotherapy . Jpn J Clin Oncol 44:1206-1215, 2014. 【Urology】 [1.783]
4. Matsubara N*, Uemura H, Satoh T, Suzuki H, Nishiyama T, Uemura H, Hashine K, Imanaka K, Ozono S, Akaza H. : A phase 2 trial of abiraterone acetate in japanese men with metastatic castration-resistant prostate cancer and without prior chemotherapy (JPN-201 Study). Jpn J Clin Oncol 44:1216-1226, 2014. 【Urology】 [1.783]
5. Suzuki K*, Ozono S, Yamaguchi A, Koike H, Matsui H, Nagata M, Takubo T, Miyashita K, Matsushima T, Akaza H. : A phase 1 multiple-dose study of orteronel in Japanese patients with castration-resistant prostate cancer. Cancer Chemother Pharmacol 75:373-80, 2015. 【Urology】 [2.571]

6. Takayama T, Takaoka N, Nagata M, Johnin K, Okada Y, Tanaka S, Kawamura M, Inokuchi T, Ohse M, Kuhara T, Tanioka F, Yamada H, Sugimura H, Ozono S. Ethnic differences in GRHPR mutations in patients with primary hyperoxaluria type 2. Clin Genet. 86:342-8, 2014. 【Urology】 [3.652]

インパクトファクターの小計 [15.10]

(2-1) 論文形式のプロシーディングズ

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. 高山達也、竹原康雄、杉山将隆、石井保夫、杉山貴之、谷島崇史、甲斐文丈、鈴木孝尚、永田仁夫、大塚篤史、古瀬 洋、阪原晴海、大園誠一郎. : 第 44 回腎癌研究会記録集 : Symposium 3 「新たな画像診断、新たな治療」 3. 腎細胞がんにおける PC-VIPR を用いた 3 次元シネ位相コントラスト MRI によるスニチニブの治療効果予測の試み. 泌外 27 (別冊) :24, 2014. 【泌尿器癌】 [0.00]
2. 麦谷荘一、佐藤滋則、加藤大貴、永田仁夫、草間由紀子、馬場 聡. : 第 44 回腎癌研究会記録集 : Poster Session 1 「症例報告」 5. 経皮的内視鏡下生検が診断の契機となった腎嚢胞内腎細胞癌 (Renal cell carcinoma, unclassified, with low grade malignant potential) の 1 例. 泌外 27 (別冊) :81, 2014. 【泌尿器癌】 [0.00]
3. 高山達也、大園誠一郎. : シンポジウム 1 : 3. 進行性腎細胞癌におけるシークエンシャル療法の現況. 第 40 回尿路悪性腫瘍研究会記録 : 集学的治療・腎癌・尿路癌. 4 月 :33-38, 2014. 【泌尿器癌】 [0.00]
4. 小西憲太、鈴木一徳、小杉 崇、野中穂高、那倉彩子、阪原晴海、杉山貴之、永田仁夫、古瀬洋、大園誠一郎. : 第 29 回前立腺シンポジウム記録 : ポスター討論④ : ポスターセッション 10 ; 1. 前立腺癌に対する強度変調放射線治療の初期治療成績. 泌外 27:1345-1347, 2014. 【泌尿器癌】 [0.00]

(3) 総 説

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 古瀬 洋、大園誠一郎. : 2. 腎盂・尿管癌. 泌外 Vol.27 特別号 「必携 明解!! 泌尿器科診療の手引き」 27 Suppl:48-51, 2014. 【泌尿器癌】 [0.00]
2. 大園誠一郎、古瀬 洋. : 3. 膀胱腫瘍. 泌外 Vol.27 特別号 「必携 明解!! 泌尿器科診療の手引き」 27 Suppl:52-55, 2014. 【泌尿器癌】 [0.00]
3. 大園誠一郎、樋之津史郎、並木幹夫、赤座英之. : NCCN Asia Consensus Statement -NCCN ガイドラインはアジア人に通用するか-. 癌と化学療法 41:683-686, 2014. 【泌尿器科】 [0.00]
4. 大園誠一郎. : 特集 日本の去勢抵抗性前立腺癌 (CRPC) 治療の新時代 : 日本における CRPC 治療新時代における泌尿器科医の役割. 癌と化学療法 41:823-826, 2014.
5. 大園誠一郎. : 特集 : がん免疫抑制・免疫疲弊と新規治療 ; 腎癌に対する Nivolumab (抗 PD-1 抗体; ONO-4538/BMS-936558) について. 癌と化学療法 41:1077-1080, 2014. 【泌尿器癌】 [0.00]
6. 大園誠一郎. : 特集 : 高齢者における排尿障害 4. 男性の排尿障害 -特に前立腺肥大症-の診断と治療. Geriatric Medicine (老年医学) 52:1053-1056, 2014. 【老年医学】 [0.00]
7. 大園誠一郎. : 特集 : 新たながん治療戦略の鍵を握る PD-1 抗体 : がん免疫療法が、がんを抑制

- する【第2部】PD-1抗体の臨床. 細胞工学 33:1054-1056, 2014. 【免疫療法】 [0.00]
8. 古瀬 洋、杉山貴之、大園誠一郎. : 特集: 前立腺がん治療の進歩 ; 2.前立腺がんのリスク別治療法- 3)中間リスク～高リスク症例に対する治療 b) 内分泌療法. 臨床腫瘍プラクティス 10:435-438, 2014. 【泌尿器癌】 [0.00]
 9. 大園誠一郎、古瀬 洋. : 特集: 去勢抵抗性前立腺癌 III. 最新の治療法; 去勢抵抗性前立腺癌に対する化学療法. 日本臨牀 72:2170-2173, 2014. 【泌尿器癌】 [0.00]
 10. 大塚篤史、鈴木孝尚、大園誠一郎: 手術手技: 女性泌尿器科関連の手術-基本手技とコツ⑥ 膀胱瘻閉鎖術. 臨泌 69:210-217, 2015. 【下部尿路機能障害】 [0.00]
- インパクトファクターの小計 [0.00]

(4) 著 書

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの
1. 永田仁夫: 第8章 尿路結石: 尿路結石の診断・治療・再発予防 II.疫学と診断. 日本泌尿器科学会 2014年卒後教育テキスト、日本泌尿器科学会、東京都、pp180-184、2014. 【尿路結石】
 2. 大園誠一郎: 19.泌尿器科疾患 「排尿困難」. 今日の治療指針 2015年版 デスク版・ポケット版、(株)医学書院、東京都、pp1118-1119、2015. 【排尿機能障害】
 3. 大園誠一郎: 42.腎臓・泌尿器系: 前立腺肥大症・排尿障害治療薬. 高久史磨(監)、堀 正二、菅野健太郎、門脇 孝、乾 賢一、林 昌洋(編). 治療薬ハンドブック 2015-薬剤選択と処方のポイント-、(株)じほう、東京都、pp756-770、2015. 【泌尿器科】

(5) 症例報告

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの
1. 鈴木孝尚、中西利方、青木高広、大園誠一郎. : アルゴンプラズマ凝固法 (APC) により治療した血液透析患者の胃前庭部血管拡張 (GAVE) の1例. 胃と透析 76:759-762, 2014. 【泌尿器科】 [0.00]
 2. 鈴木孝尚、大塚篤史、加藤大貴、古瀬 洋、大園誠一郎. : 自殺を企図した間質性膀胱炎患者の1例. 泌尿紀要 60:567-570, 2014. 【泌尿器科】 [0.00]
 3. 鈴木孝尚、大塚篤史、石井保夫、本山大輔、永田仁夫、杉山貴之、古瀬 洋、大園誠一郎. : 副甲状腺摘出術後の残存異所性副甲状腺腺腫により副甲状腺機能亢進症が持続した血液透析患者の1例. 内分泌甲状腺外会誌 31:323-327, 2014. 【泌尿器科】 [0.00]
- インパクトファクターの小計 [0.00]
- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの (学内の共同研究)
1. Nasu H*, Miura K, Baba M, Nagata M, Yoshida M, Ogura H, Takehara Y, Sakahara H. : Breast cancer metastatic to the kidney with renal vein involvement. Jpn J Radiol <http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/25544028>, 2014. 【泌尿器癌】 [0.742]
- インパクトファクターの小計 [0.74]

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. Takayama T*, Takehara Y, Sugiyama M, Sugiyama T, Ishii Y, Johnson KE, Wieben O, Wakayama T, Sakahara H, Ozono S. Use of three-dimensional time-resolved phase-contrast magnetic resonance imaging with vastly undersampled isotropic projection reconstruction to assess renal blood flow in a renal cell carcinoma patient treated with sunitinib: a case report. BMC Res Notes 7:527, 2014. 【Urology】 [0.00]
2. 加藤大貴、中西利方、青木高広、大園誠一郎：糖尿病性ケトアシドーシス、重症敗血症をきたし、後腹膜腔の広範囲に気腫が拡大した気腫性腎盂腎炎の1例。泌外 27:1835-1839, 2014. 【泌尿器科】 [0.00]

インパクトファクターの小計 [0.00]

4 特許等の出願状況

	平成 26 年度
特許取得数（出願中含む）	0 件

5 医学研究費取得状況

（万円未満四捨五入）

	平成 26 年度	
(1) 文部科学省科学研究費	2 件	(155 万円)
(2) 厚生労働科学研究費	1 件	(30 万円)
(3) 他政府機関による研究助成	1 件	(41 万円)
(4) 財団助成金	0 件	(0 万円)
(5) 受託研究または共同研究	10 件	(1,035 万円)
(6) 奨学寄附金その他（民間より）	15 件	(1,130 万円)

(1) 文部科学省科学研究費

1. 大園誠一郎（代表者）基盤研究（C）、腎癌のFABP7機能解明とトリグセリド代謝の検討ならびに発癌予防に向けた探索、平成26年度～平成28年度、平成26年度：150万円（新規）
2. 大園誠一郎（分担者）基盤研究（C）、心停止後腎移植モデルにおける間葉系幹細胞の組織再生効果の検討、平成26年度～平成28年度、平成26年度：5万円（新規）、代表者：北里大学獣医学部講師 岩井聡美

(2) 厚生労働科学研究費

1. 大園誠一郎（分担者）標準的治療の確立が望まれる難治性疾患に対する新規治療法の開発、平成 24 年 10 月～平成 28 年度、平成 26 年度：30 万円（継続）、代表者：九州大学 ARO 次世代医療センター 中西洋一

(3) 他政府機関による研究助成

1. 大園誠一郎（分担者）文部科学省特別経費、光技術を活用した『がん』克服への新たなアプローチによる健康長寿社会の実現「3-5. 光を利用した泌尿器・尿路がんの診断と治療の研究」、平成23年度～平成27年度、平成26年度：41万円（継続）、代表者：浜松医科大学メディカルフオトニクス研究センター 簗島伸生

(5) 受託研究または共同研究

1. 受託研究 アステラス製薬(株)、132 万円、女性過活動膀胱患者に対するミラベグロンとイミダフェナシンの無作為化群間比較試験（継続）、大塚篤史
2. 受託研究 公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター、8 万円、低リスク前立腺癌患者を対象とした低用量クロルマジノン酢酸エステルのアクティブサーベイランス継続率に対する効果を検討する多施設共同、プラセボ対照、無作為化二重盲検群間比較試験（新規）、杉山貴之
3. 受託研究 公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター、32 万円、根治切除不能または転移性の腎細胞癌患者に対する 1st line TKI 療法不応後のエベロリムスの有効性および安全性の検討(J-ACTOR 試験)（新規）、大園誠一郎
4. 共同研究 東レ (株)、634 万円、ヒト膀胱標本を用いたアドレナリン β 3 受容体作動薬の比較検討（継続）、大塚篤史
5. 共同研究 バイエル薬品 (株)、165 万円、ヒト腎癌細胞における pentraxin family 等の急性反応性蛋白発現と sorafenib の効果との関連性の検討（継続）、大園誠一郎
6. 治験 バイエル薬品 (株)、骨転移性去勢抵抗性前立腺癌（CRPC）を有する無症候性又は軽度症候性の化学療法未治療患者における abiraterone acetate 及びプレドニゾン/プレドニゾンとの併用投与による塩化ラジウム-223 の第 III 相、無作為化、二重盲検、プラセボ対照比較試験、古瀬 洋
7. 治験 アボット ジャパン (株)、35 万円、ウロビジョンによる尿中細胞の染色体遺伝子異常の評価、古瀬 洋
8. 製造販売後調査等 サノフィ (株)、11 万円、ジェブタナ®点滴静注 60mg 使用成績調査、大園誠一郎
9. 製造販売後調査等 第一三共 (株)、16 万円、ユリーフ®錠 2mg,4mg 特定使用成績調査－既存の α 1 遮断薬で効果不十分な BPH 患者を対象とした調査－、大園誠一郎
10. 製造販売後調査等 ノバルティスファーマ (株)、2 万円、アフィニトール錠有害事象詳細調査、大園誠一郎

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0 件	2 件
(2) シンポジウム発表数	1 件	5 件
(3) 学会座長回数	0 件	19 件
(4) 学会開催回数	0 件	2 件
(5) 学会役員等回数	5 件	31 件
(6) 一般演題発表数	0 件	

(1) 国際学会等開催・参加

3) 国際学会・会議等でのシンポジウム発表

1. Ozono S : Prostate Session 3 : Case discussion -CRPC-. East Asia AstraZeneca Urologic Oncology

Symposium, Seoul, Korea. Mar. 2015.

(2) 国内学会の開催・参加

1) 主催した学会名

1. 第 31 回浜松カンファレンス開催. 2014 年 8 月、浜松市.
2. 第 64 回日本泌尿器科学会開催 (大会長). 2014 年 10 月、浜松市.

2) 学会における特別講演・招待講演

1. 大園誠一郎 : NMIBC 診療の Update. 第 102 回日本泌尿器科学会総会. 2014 年 4 月、神戸市.
2. 永田 仁夫 : 卒後教育プログラム「尿路結石症の疫学と診断」, 第 102 回 日本泌尿器科学会総会, 2014 年 4 月, 神戸市

3) シンポジウム発表

1. 大塚篤史 : 「尿路結石症に対する medical expulsive therapy への期待と限界」β3 刺激薬への期待とその問題点. 第 102 回日本泌尿器科学会総会. 2014 年 4 月、神戸市.
2. 古瀬 洋 : 浜松医科大学におけるデガレリクスの使用経験. 浜松前立腺癌 UP-TO-DATE. 2014 年 5 月、浜松市.
3. Ozono S : Symptomatic, mCRPC with poor performance status and no prior chemotherapy. Virtual symposium, Aug. 2014, Tokyo.
4. 古瀬 洋 : 膀胱癌診療ガイドラインに基づく筋層非浸潤性膀胱がん治療に関するオーバービュー. 第 64 回日本泌尿器科学会中部総会. 2014 年 10 月、浜松市.
5. 大塚篤史 : 静岡県・浜松医科大学における女性医師支援の取り組み - 静岡県内の泌尿器科医を取り巻く現況と課題を含めて -. 第 64 回日本泌尿器科学会中部総会. 2014 年 10 月、浜松市.

4) 座長をした学会名

1. 大園誠一郎 : 総会賞応募ポスター : 尿路上皮腫瘍・精巣腫瘍 : 臨床 1、第 102 回日本泌尿器科学会総会、2014 年 4 月、神戸市.
2. 大園誠一郎 : 特別企画 4 : 治療開発マップの作成 : 尿路上皮癌、第 102 回日本泌尿器科学会総会、2014 年 4 月、神戸市.
3. 大園誠一郎 : ランチョンセミナー37 : 腎癌薬物治療で患者さんに何が提供できるか? 第 102 回日本泌尿器科学会総会、2014 年 4 月、神戸市.
4. 古瀬 洋 : 一般演題口演 : 前立腺腫瘍・薬物療法、第 102 回日本泌尿器科学会総会、2014 年 4 月、神戸市.
5. 大園誠一郎 : シンポジウム 2 : 在宅医療と高齢者がん医療、第 27 回日本老年泌尿器科学会、2014 年 6 月、山形市.
6. 本山 大輔 : 一般演題・口演 14-16、第 264 回日本泌尿器科学会東海地方会、2014 年 6 月、名古屋市
7. 大園誠一郎 : 学術セミナー41 : 分子標的薬時代の薬物治療における課題、第 52 回日本癌治療学会学術集会、2014 年 8 月、横浜市.
8. 大園誠一郎 : Plenary Session : BCG 注入療法を施行した筋層非浸潤性膀胱癌の上部尿路再発

に関する多施設共同研究、第 52 回日本癌治療学会学術集会、2014 年 8 月、横浜市。

9. 大園誠一郎：イブニングセミナー2：Sexual Rehabilitation、日本性機能学会 第 25 回学術総会、2014.09. 仙台市。イブニングセミナー2：BPH/LUTS の新たなる治療戦略 -PDE5 阻害薬は第一選択薬になりうるのか?-、第 21 回日本排尿機能学会、2014 年 9 月、岡山市。
10. 大園誠一郎：ランチョンセミナー6：去勢抵抗性前立腺癌における新しい治療戦略 -CYP17 阻害による新たな Androgen Deprivation-、第 73 回日本癌学会学術総会、2014 年 9 月、横浜市。
11. 大園誠一郎：一般演題・ポスター：腎がん (3)、第 73 回日本癌学会学術総会、2014 年 9 月、横浜市。
12. 鈴木 孝尚：一般演題・口演 6-9、第 265 回日本泌尿器科学会東海地方会、2014 年 9 月、名古屋市
13. 大塚 篤史：男女共同参画委員会企画シンポジウム。第 64 回日本泌尿器科学会中部総会。2014 年 10 月、浜松市。
14. 大園誠一郎：一般演題：泌尿器疾患、第 44 回日本腎臓学会東部学術大会。2014 年 10 月、東京都。
15. 大園誠一郎：総会賞ポスター6：その他、第 28 回日本泌尿器内視鏡学会総会。2014 年 11 月、福岡市。
16. 古瀬 洋：一般演題ポスター17：腹腔鏡、その他、第 28 回日本泌尿器内視鏡学会総会。2014 年 11 月、福岡市。
17. 鈴木 孝尚：一般演題・口演 15-18、第 266 回日本泌尿器科学会東海地方会、2014 年 12 月、名古屋市
18. 鈴木 孝尚：一般演題：ABO 血液型不適合、第 48 回日本臨床腎移植学会、2015 年 2 月、名古屋市
19. 鈴木 孝尚：優秀発表賞・口演 8-10、第 267 回日本泌尿器科学会東海地方会、2015 年 3 月、名古屋市

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

大園誠一郎：日本泌尿器科学会代議員

大園誠一郎：日本泌尿器科学会広報委員会委員

大園誠一郎：日本泌尿器科学会会則検討委員会委員

大園誠一郎：日本泌尿器科学会泌尿器科腫瘍薬物療法部門委員

大園誠一郎：日本泌尿器科学会総務委員会委員

大園誠一郎：日本泌尿器科学会専門領域委員会泌尿器科腫瘍副部長

大園誠一郎：日本泌尿器科学中部連合地方会運営委員

大園誠一郎：日本泌尿器科学東海地方会運営委員

大園誠一郎：日本排尿機能学会理事

大園誠一郎：日本癌治療学会理事・関連学会連絡委員会委員長

大園誠一郎：日本癌治療学会・がん診療ガイドライン委員会尿路上皮がん・腎がん部門協力委員
 大園誠一郎：日本泌尿器内視鏡学会評議員
 大園誠一郎：日本老年泌尿器科学会評議員
 大園誠一郎：日本透析医学会評議員
 大園誠一郎：日本腎臓学会学術評議員
 大園誠一郎：日本内分泌外科学会評議員
 大園誠一郎：日本アンドロロジー学会評議員
 大園誠一郎：日本女性骨盤底医学会理事
 大園誠一郎：日本 Men's Health 医学会評議員
 大園誠一郎：腎癌研究会世話人・将来計画委員会委員長
 大園誠一郎：日本腎泌尿器疾患予防医学研究会世話人
 大園誠一郎：BCG 注入療法研究会世話人代表
 大園誠一郎：Japan Clinical Oncology Group (JCOG) 泌尿器科腫瘍グループ・グループ代表委員
 大園誠一郎：Japan Clinical Oncology Group (JCOG) 泌尿器科腫瘍グループ・UC-SWG 班長
 大園誠一郎：American Urological Association(AUA) International Member
 大園誠一郎：American Society of Clinical Oncology(ASCO) Member
 大園誠一郎：NCCN Asia Consensus Statement Panel Member
 大園誠一郎：Société Internationale d'Urologie(SIU) Member
 大園誠一郎：International Continence Society(ICS) Member
 古瀬 洋：日本泌尿器内視鏡学会評議員
 古瀬 洋：日本泌尿器科学会東海地方会運営委員
 大塚 篤史：東海排尿障害研究会世話人
 大塚 篤史：静岡県 LUTS 研究会世話人
 大塚 篤史：浜名湖排尿障害研究会世話人
 大塚 篤史：NPO 日本コンチネンス協会東海支部顧問

8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数（レフリー数は除く）	1 件	1 件

(1) 国内の英文雑誌等の編集

1. 大園誠一郎：Japanese Journal of Clinical Oncology, Associate editor, PubMed/Medline 登録有, インパクトファクター有

(2) 外国の学術雑誌の編集

1. 大園誠一郎：IBIMA publishing, Editorial Board, PubMed/Medline 登録無, インパクトファクター無

(3) 国内外の英文雑誌のレフリー

- 大園誠一郎：Japanese Journal of Clinical Oncology 15 回 (Japan)
- 大園誠一郎：GaBi Journal 1 回 (Belgium)
- 大園誠一郎：Urologia Internationalis 1 回 (Switzerland)

大園誠一郎：Prostate International 1回 (Korea)
 大園誠一郎：Cancer Science 1回 (England)
 大園誠一郎：International Journal of Urology 1回 (Australia)
 古瀬 洋：International Journal of Urology 2回 (Australia)
 大塚 篤史：International journal of Urology 2回 (Australia)
 大塚 篤史：Expert Opinion On Drug Discovery 1回 (USA)
 鈴木 孝尚：Canadian Urological Association Journal 4回 (Canada)
 鈴木 孝尚：International Journal of Urology 1回 (Australia)

9 共同研究の実施状況

	平成 26 年度
(1) 国際共同研究	2 件
(2) 国内共同研究	13 件
(3) 学内共同研究	1 件

(1) 国際共同研究

1. 早期前立腺がんに対する PSA 監視療法：国際共同比較研究 (PRIAS-JAPAN)、日本 (香川大学 笥 善行)・欧州 8 カ国、平成 25 年 8 月～28 年 3 月
2. 早期前立腺癌に対する PSA 監視療法における[-2]proPSA の有用性の検討－Prostate Cancer Research International:Active Sureveillance (PRIAS) での国際共同比較－ (PRIAS－JAPAN 付随研究)、日本 (香川大学 笥 善行)・欧州 8 カ国、平成 25 年 8 月～28 年 3 月

(2) 国内共同研究

1. 根治切除不能または転移性の腎細胞癌患者に対する 1st line TKI 療法不応後のエベロリムスの有効性および安全性の検討、J-ACTOR、平成 23 年 4 月～平成 27 年 3 月
2. High grade T1 膀胱癌の second TUR 後 T0 患者に対する BCG 膀胱内注入療法と無治療経過観察のランダム化第Ⅲ相試験 (JCOG1019)、Japan Clinical Oncology Group(JCOG)泌尿器科腫瘍研究グループ、平成 23 年 10 月～平成 33 年 9 月
3. 根治手術が実施された上部尿路癌におけるリンパ節郭清術の意義と術後の膀胱再発に関する調査研究、Japan Clinical Oncology Group(JCOG)泌尿器科腫瘍研究グループ、平成 24 年 3 月～平成 27 年 1 月
4. 分子標的薬の治療効果の組織学的判定基準を確立を目的とした多施設共同研究、腎癌研究会 (慶応大学)、平成 24 年 11 月～平成 27 年 10 月
5. 腎細胞癌患者における mTOR 阻害剤の免疫調整機構に対する多施設共同研究、J-TORIM (熊本大学)、平成 25 年 1 月～平成 28 年 12 月
6. 女性過活動膀胱患者に対するミラベグロンとイミダフェナシンの無作為化群間比較試験、浜松医大泌尿器科および関連施設、平成 25 年 1 月～平成 27 年 4 月
7. 表在性膀胱癌の再発に対する MMC と THP の膀胱腔内注入療法無作為化第三相試験、浜松医大泌尿器科及び関連 18 施設、平成 25 年 6 月～平成 28 年 3 月

8. 腎細胞癌における分子標的治療薬の組織学的な治療効果の解析、慶應義塾大学（代表）、平成25年7月～平成27年10月
 9. 低用量 BCG 膀胱腔内注入維持療法の再発予防効果ならびに安全性に関するランダム化比較試験、九州大学病院（代表）、平成25年9月～平成30年9月
 10. 転移性腎細胞癌に対する1次 IL-2+IFN α 併用/2次 Axitinib 逐次療法群と1次 Sunitinib/2次 Axitinib 逐次療法群における有効性・安全性に関するランダム化比較試験 (Escape study)、金沢大学（代表）、平成26年1月～平成28年12月
 11. 低リスク前立腺癌患者を対象とした低用量クロルマジノン酢酸エステルのアクティブサーベイランス継続率に対する効果を検討する多施設共同、プラセボ対照、無作為化二重盲検群間比較試験 -PROSAS-Study-、香川大学（代表）、平成26年7月～平成30年12月
 12. HLA-A24 陽性のドセタキセル不適格再燃前立腺がんに対するテーラーメイドがんペプチドワクチン療法の第II相臨床試験、久留米大学（代表）、平成27年1月～平成30年5月
 13. 5-アミノレブリン酸 (5-ALA)による蛍光膀胱鏡を用いた膀胱癌の光学的診断 (経口5-アミノレブリン酸 (5-ALA)投与後の蛍光膀胱鏡による膀胱癌に対する光学的診断の安全性・有用性に関する臨床研究 (ALAB-O)、高知大学（代表）、平成27年1月～平成27年12月
- (3) 学内共同研究
1. 生活習慣と泌尿器科疾患の遺伝環境表現型相関、病理学第一、平成26年6月～平成31年5月

10 産学共同研究

	平成26年度
産学共同研究	2件

1. 東レ（株）：ヒト膀胱標本を用いたアドレナリン β 3受容体作動薬の比較検討
2. アステラス製薬(株)：女性過活動膀胱患者に対するミラベグロンとイミダフェナシンの無作為化群間比較試験

15 新聞、雑誌等による報道

1. 大園誠一郎：排尿障害いかに克服するか、中日新聞、2014年9月18日。